

2019 飛んでスマート・クルーズ・アカデミー企画

<シンガポール⇒ペナン⇒シンガポール 3泊4日

@ ボイジャー・オブ・ザ・シーズ >



大阪大学国際公共政策研究科・公共政策学科ジョイントクルーズ体験企画

シップデータ

ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
 総トン数 137,276トン
 乗客定員 3,114人
 乗組員定員 1,181人
 全長 310M
 全幅 48M
 巡航速度 22 ノット



クルーズ日程:



日付	寄港地	入港	出港
02/15 (金)	シンガポール	シンガポール	16:30
02/16 (土)	ペナン島	マレーシア	15:00 23:00
02/17 (日)	終日クルージング	-	-
02/18 (月)	シンガポール	シンガポール	08:00

★印はテンダーボート(小型船)にて上陸します。天候によりボートが欠航し寄港できない場合もございます。





特に満足したポイント

1. 船の豪華さ:船が非常に豪華で、船の中にいるのにまるでヨーロッパにいるような素敵な街並みと、素敵なイベントが盛りだくさんで、とても楽しく過ごせました。○ショーのクオリティーの高さ:各場所でさまざまにショーが行われていましたが、それぞれのクオリティーが高く、追加でお金を払わずそれを観ることができるというのが最高でした。○寄港地の面白さ:ペナン島というマレーシアに旅行に行ってもなかなか行きにくい場所を寄港地としているため、クルーズに乗らなければ一生行けなかったかもしれないと思うととても感慨深くあります。"
2. "○クルーズ船内のアクティビティの豊富さ。ロッククライミングやアイススケートなど陸上でもなかなか体験することができないアクティビティを行うことができた。○船内の非日常間。船自体の規模が大きく豪華であること、また周りの環境(多国籍な乗船客)が日常とは違い刺激的であった。○シンガポールとペナン島の観光地としての魅力。街自体が魅力的であったことに加えて、港からすぐに観光地があり快適に観光ができた。"
3. ○船内のアクティビティが多い(理由)船内で楽しめる施設が豊富で、時間が余るようなことはなかったから。身体を動かして楽しめる施設やイベントが多く、船内での豪華な食事の分を解消するのにもよかった。○短期間ならではの濃さがあった(理由)長いクルーズと違い、短期間であったために毎日の密度が濃く感じ、とても充実していたから。○日本人が少なかった(理由)海外クルーズという雰囲気を満喫できたのがよかった。
4. 海外発着であること…日本発着クルーズでは日本人が多いが、海外発着だからこそ馴染みの浅い国の文化を感じることができた。○アクティビティの充実した船であったこと…たくさんアクティビティやショーがあり、船内にいても飽きることがなかった。○少人数で時間がゆっくりあったこと…ゼミ生のおよそ半分しか参加していなかったため、全員と平等にたくさん話すことができた。また、寄港が少なく船上でも自由にできる時間が多かったため、思い思いに船を楽しむことができたと感じる。
5. 船内の広さ。広々とした船内、客室で、ゆったりと快適に過ごすことができたから。○エンターテインメント施設の充実度。ロッククライミングやサーフィン、アイススケートが船上で体験できて楽しかったから。○ショーのクオリティーの高さ。最終日のライブショーの質が高く、魅了されたから。
6. ○アクティビティが多く、終日航海の日でも暇を持って余さずに過ごせた点 ○寄港地が少なく、一つ一つの寄港地を余裕をもって楽しむことができた点 ○他の乗客に日本人が少なく、いろいろな人とのコミュニケーションを楽しむことができた点
7. 船内の豪華さ。前回のコスタに乗った時もその贅沢さに拍子抜けしたものであるが、今回はその比にならないほど、豪華でかつ規模が大きかった。そのため4日間全く飽きることがなかった。○普通ならなかなか入れない場所に特別に入れていただいたことである。特にマリナーベイサンズでは本来は宿泊者しか入れない屋上プールを見学することができた。去年の夏、当地を訪れ、入場料を払いながらも、プールを見学できず、辛酸をなめたことが嘘のようであった。○たくさん初体験ができたことである。船内ではサーフィンやアイススケート、ボルダリングなどを体験することができたし、寄港地では水タバコを体験するなど、なかなか国内では味わえない経験をたくさんすることができた。これは今回のクルーズで最も満足したポイントであった。
8. ショーがとてもよかったです。アイスショー、マジックショー、ミュージカルショーを観覧しましたが、どれも大迫力で感動的でした。観客を巻き込む演出がとても楽しかったです。○ペナン島での思い出がたくさんできました。お昼から入国し、夜 10 時頃までたっぷり満喫することができ、これもクルーズの魅力だなと感じました。○お客さんの多様性。インドからのお客さんが多かったですが、いろんな国から来た人々と交流できたのは海外発着の利点だと思います。

9. 1日航海の日であっても楽しむのには十分すぎるほどのアトラクションやショーが船内にあったので時間を有意義に使えたところ。○船内も非常に豪華で、まるで船の中とは感じられないほどの造りであり、船内も飽きさせないような景色になっていたところ。○寄港地では観光できる時間が長かったので、あわただしく移動する必要がなかったところ。
10. 特に満足したポイントは、船内のアクティビティ施設、船内での食事、マリーナ・ベイ・サンズでの視察、の3つである。船に乗っているととは思えないほどアクティビティ施設が充実しており、今回の3泊4日では回り切れないほどだった。また、米国船籍かつ海外発着のクルーズだったので食事はかなり大味かと想像していたが、そのようなことはなくどの食事も美味しかった。そして、シンガポールを代表するホテルであるマリーナ・ベイ・サンズの有料エリアや、普通では入れないような裏側の施設を視察できたことは非常に大満足である。
11. まず1点目がシンガポール発着であったこと。クルーズという時点で十分に非日常であるのに、海外発着になることで、その非日常さが増した気がする。2点目は、船内アクティビティの多さ。自分が今まで体験したことのないアクティビティもあり、まさかこのような形で体験することができるとは思っていなかったので、余計に楽しかった。3点目は、クルーズ船そのもの。その大きさ、内装のきらびやかさ、先述のとおり充実した船内アクティビティ。その全てが非日常を演出しており、非常に感慨深かった。
12. 船内アトラクション:時間の使い方に困らない。もちろん3泊4日と前回より短い期間だったことであろうが、乗客に飽きさせないためにアトラクションを、これでもかと準備しているように思えた。②非日常感:入った瞬間から高級ホテルに足を一歩踏み入れたような錯覚に陥る。普段では決して味わうことのできない経験を通して、日々の喧騒を一時の間忘れる事ができる。
13. 料理(料理の種類が豊富で、バイキングの料理は新鮮であった。また、日本語のメニューがあったためわかりやすかった。何よりも美味しかった。)②サービス(親切で、明るい人が多かった。名前を覚えてくれる人もおり、好感を持った。③イベント(3泊4日の時間内では足りないほどたくさんのイベントがあり、どれも魅力的だった。特に、アイススケートショーは迫力満点だった。)
14. ジャグジープールでは寒い日本を忘れ、リフレッシュすることができた。ロッククライミングやアイススケートリンク、ミニゴルフ場など無料で様々なアクティビティをすることができ、終日クルーズの日でも時間が足りないくらい遊ぶことができた。毎晩ダイニングでの食事では、みんなと料理をシェアしながら和気藹々と楽しく食事ができた。

海外発着のクルーズについて、申し込むかどうか考えていたときに、どのようなポイントを考慮したか?

1. 海外発着のため、発着地までの航空手配や料金などが心配だ。今回は、シンガポールという治安も良く日本から行きやすい国であったこともあり、すぐに行くことを決めた。
2. クルーズ船に乗りたいたいという思いが強かったことから、第一に船の種類と船内アクティビティを考慮した(乗るならば大きな船、アクティビティ豊富な船に乗りたかったため)。また、海外にまでいく労力を考えると発着地点自体の観光地としての魅力も重視した。
3. 以前乗った船と比較し、前回のクルーズでは体験できないアクティビティや施設があるかを重視した。今回のボイジャーは船の大きさも、施設も寄港地も前回よりもかなり魅力的であったため申し込もうと決意した。やはり一度クルーズに行ったことがあると、次回乗ろうと思うきっかけは、船のアップグレード感とそれに見合った値段である。
4. 2月は就職活動の予定がどうなるか全く分かっていなかったもので、約1週間日本を離れることに不安はある。しかし、就活解禁前に思いっきり遊べるということと、4回生と長い間一緒に過ごせる最後の機会なので参加することにした。
5. 規模が大きいと聞いていたので、映画に出てくるような広い船内をイメージしている。また、海外でのクルーズだったので、世界各国からの乗客が集まって、夜は交流会のようになるのか

な。船の乗船・下船案内の丁寧さ等には少し不安も抱いている。

6. 海外発着ということで、トータルの料金代金には航空券代も含まれる。そのため、いかに航空券を安く、かつ出航時間とのタイムロスがなく入手できるかが重要になる。帰りには旅行の疲れもたまっているので、できればより快適な航空機に乗りたい。
7. 私の場合は特に深く考えることもなく申し込みを決めた。なぜならこの体験は、たとえお金持ちになっても、自分の思考上、一生体験することがないだろうなど感じたからであった。私の場合は申し込みののちに、自分のやりたいことが固まり、それに時間をかけなくなったのだが、それでも実際に船に乗ってみると、そのような後悔も一瞬で吹き飛んだ気がする。
8. 自分で現地まで行くことを考えると航空機代がかかるため負担は増えるが、海外発着のクルーズだと、お客さんの国籍や文化が様々で交流するのが楽しそう。また、下船した後も各自観光できるので陸上でも海上でも楽しめるのは魅力的だな。
9. 出発地及び到着地が交通（特に飛行機）のアクセスがよく、比較的大きな町であるかどうかで考えた。日本からのアクセスが良い場所でない乗船前に一苦労してしまうので、なるべく近いところで楽に行けるところの方がよい。
10. クルーズが日本よりも盛んな海外の国で、日本では乗れないようなクルーズ船に乗れる点、及び、乗船前・寄港地・下船後にその国（地域）の観光ができるので、海外発着クルーズならではの海外旅行ができる点に惹かれて申し込み、その結果、自身が期待していた以上に楽しめた。なお、発着する場所（今回であればシンガポール）までのフライト費用についてはやはり当初は気になっていたが、かなり前もって乗船日及び下船日をアナウンスしていただき、早めにチケットを予約できたおかげで、そこまでの障壁にはならなかった。
11. 5月に始めてクルーズ船に乗ったときに、それに魅了されていたので、海外発着のクルーズ船を紹介されたときにほとんど即決で参加を決めていた。強いていうのであれば、その日程や客船の規模と価格が見合うかどうかなどは考慮する。
12. 前回の船を超える経験ができるかどうか。確かにクルーズは非日常感が味わえて素敵な時間を過ごせるが、もし日本発着で同じレベルの船があるのなら私はあえて海外発着を選ばないだろう。つまり、海外発着のクルーズが日本発着のクルーズに対して超えている点を考慮するのだ。
13. シンガポールまでの飛行機の価格とクルーズの価格、期間、乗船する時期がクルーズ申し込みで考慮した点である。
14. 最初に今回誘っていただいたクルーズがシンガポール発着のクルーズだと聞いて、シンガポールは自分が行ったことのない国であったこと。そして寄港地のペナン島を調べるうちに、マレーシアのリゾートということでも興味を持てる。ショートクルーズでありながら、寄港地以外に発着地も海外ということで二カ国訪れられるお得な気分になる。

"客船(ボイジャー・オブ・ザ・シーズ)の概要を知ったときの感想

1. マリナーオブザシーズと姉妹船ということもあり、マリナーオブザシーズでの素晴らしい経験を思い出してとてもワクワクしている。なにより船が大きいことと、アクティビティが多いことに魅力を感じている。
2. 率直に大きな船に乗れることや、アクティビティの充実さが楽しみだった。2年前に姉妹船のマリナーオブザシーズに乗船していたため、マリナーとどのような違いがあるのか、サービスがどのように変わっているか気になっている。
3. プロムナードが印象的であった。船の中なのにまるでショッピングセンターのような場所があるということに驚いている。また、スポーツアクティビティが多く、船上での時間をアクティブに過ごせそうだな。また、寄港地のペナンも自分で旅先を決めるときになかなか思い切って選べない場所だ。
4. 前回・前々回ともにコスタネオロマンチカだったため、これまでとは違うクルーズ船に乗船し、様々な船を知ることができるのがとても楽しみ。特に大きさが全然違うということや、アクティ

ビティが充実した船であるということが楽しみ。

5. アイススケートやロッククライミング、サーフィンも船内でできると聞いて、どれほど規模の大きい船なんだろうと感じた。船内図を見て、よりその大きさを実感している。コスタはイタリアの船でダンスが多くあったが、アメリカの船は、ダンスナイト等のイベントはどうなのだろう？
6. やはり、今まで乗ってきたクルーズ船に比べてロッククライミングやスケートリンクなどのアクティビティが充実していることが一番魅力的である。と同時に、アメリカの船会社ということもあり、船内の食事が大味なのではないかという懸念もある。
7. とにかく大きな船だなと思ったのが最初の印象である。また船内コンテンツも充実しており、陸上でもなかなかできないようなアクティビティが体験出来るということが非常に魅力的に思えた。ただアメリカの船だということで、料理は果たして美味しいのだろうかという疑念が浮かぶ。
8. 昨年5月にコスタネオロマンチカに乗船した時に船が大きくてびっくりしたが、コスタよりも大きいと聞いてどんな客船なんだととても興味が湧いている。また船上でゴルフやフローライダー、バスケットボールなどのレクリエーションが充実していてとても面白そうだな。
9. サイズが非常に大きいと知ったので船の中身は一体どうなっているのだろうかという期待に胸が膨らんでいる。船内のアトラクションの映像を見た時は、船の上や中でいろいろな遊びができて面白そうだとも思った。またフローライダーやボルダリングは特に惹かれる。早く乗りたいのでさっさと年が明けて欲しいと思っている。
10. とてもわくわく。特に、ロック・クライミングやスケート・リンク、大きなホールなど、船内のアクティビティ施設の大きさやその種類には驚いている。また、船内にある大きな吹き抜けやストリートは、大きな客船ならではの豪華さだ。今回の客船のどの部分も、(以前乗った日本発着のクルーズ船と比較して)その規模は比べ物にならないほどで、すぐに今回のSCAに申し込もうと決めた。
11. 以前乗ったことのあるクルーズ船でも十分に大きく、贅沢だと感じていたのに、それを上回る大きさ、きらびやかな内装、充実したアクティビティに目を奪われる。そこに自分が乗っているのが想像できないほど豪華な客船だ。
12. 楽しめそう!確かに前回はその規模感に圧倒されたが、ボイジャー・オブ・ザ・シーズは船内でも楽しめる施設がたくさんあり、遊び心がある船だ。それでまた、高級ショッピングモールのような通りもあり、大人も子どもも楽しめるバラエティーに富んだ船、という印象だ。
13. クルーズは初めてだったので、船の中にプールやスケート場があることが想像できない。現実ではなかなか味わえない非日常感とスケールの大きさに驚いている。とても豪華だったので、この船がカジュアル船であることも驚きだ。
14. まず、今回のボイジャー・オブ・ザ・シーズは自分が乗ったことのないクルーズ船だったので、率直に乗りたい!ロッククライミングやアイススケートリンクなど他のクルーズ船にはない独自の施設が多く、充実したクルーズ旅ができると期待している。船内ではいろんなアクティビティにチャレンジしたいな。

乗船日前夜の感想(期待や不安など)

1. まず、港までたどり着けるのかが一番不安だ。ツアーとは違い、自分で発着港まで行かなければならないため、言葉の通じない異国の地で時間までに到着するのが不安だ。
2. シンガポールに前入りし既に観光をしているため、船旅やシンガポールに対して不安等はない。また、3回目のクルーズだったため、荷物の準備や乗船に対する不安もさほど大きくはない。前夜は、船内で何をしようかなと期待でわくわくだ。
3. クルーズは3回目、乗船すること自体への不安はない。それよりも写真やパンフレットを見て船内への期待が高まっているので早く乗船したいという気持ちだ。今は、乗船したらまず何をやるのかなどの計画を立てながら、楽しみに乗船日を待っている。
4. 前日にシンガポールに着き、日本とは違う気候や景色に触れ、いよいよだという実感が

- 増している。不安は全くなく、楽しみな気持ちでいっぱいだ。4 日間思いっきり遊び、楽しもうと思い、わくわくしている。
- 5.すでにシンガポールに到着し、ホテルで休んでいるので、緊張等は特になく、期待感は大い。先輩から聞いていた、規模の大きい船に、それも海外で乗れることにわくわくしている。ただ、乗船場所に、時間通りに迷わず到着できるかだけは少し不安だ。
 - 6.乗船日は、シンガポールに宿泊している。それも安いバックパッカーの宿で、夕食もコンビニのカップヌードルで済ませたぐらいだ。外では住民が騒いでおり、とても快適な夜とは言えない。それだけに、次の日から乗船することになるクルーズ船の快適な生活が待ち遠しく感じる。
 - 7.クルーズへの乗船は今回で3回目であり、クルーズに乗ること自体にはそこまで緊張はしていない。それよりも飛行機の疲れであつという間に眠りに落ちそうだ。不安といえ、とにかく忘れ物がないかということが心配だ。
 - 8.シンガポールを訪れるのが初めてだったので MRT によって無事たどり着けるか不安だ。
 - 9.朝の集合に間に合うように起きれるのか、また MRT の駅はきちんと把握できているかが不安だ。早く朝になって乗船したいと思ひなかなか寝付けない。船内は実際どうなっているのかがとても気になっている。
 10. 明日から始まるクルーズに胸を弾ませている。また、前夜は1人でシンガポールでホテルに泊まっている(乗船日前日にはすでにシンガポールに到着していた)こともあり、そのドキドキする感覚は以前乗船した日本発着クルーズのときよりも一層大きいもののように感じる。
 11. 今回は、海外発着ということもあり、国内と違って困ったときにすぐに連絡をとったりできないことが不安だ。また、海上に出ってしまうので、忘れ物をしたときにすぐに手に入れることができることも限らないので、荷物の用意にはいつも以上に慎重になっている。
 12. 前日(2/14)はシンガポールで友達と一緒に過ごしており、地元の映画館へ行ったのだが、映画の本編が始まる前にボイジャー・オブ・ザ・シーズの広告が流れた。そこでの映像も圧倒的なもので、明日自分はこれに乗船するのかなと思うと信じられない。不安は一切なく、漠然とした期待だけがある。
 13. よく車酔いをするほうなので、3泊4日の船の旅が船酔いで終わらないか不安だ。また、船が沈んだ場合などの最悪の事態を想像してしまう。しかし、友人からプールサイドでくつろぐことの贅沢さ、イベントの面白さ、などを聞いているので、これからクルーズで素敵な旅をすることへの期待が大きい。
 14. 滞在していたホテル内では、前回、参加した際に船内で撮影した写真を見ながら気持ちを高めている。屋上からの景色や食事の画像を見て、またあの体験ができると思うとワクワクしている。正直、飛行機移動やシンガポール観光の疲れもたまっていたが、前回の反省点も踏まえ、多くのアクティビティに参加できるように毎日スケジュールを立てて活動するようにしようと決意。

マリーナベイで、乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想(規模・スケールなど)

- 1.大きい!というのが第一印象。クルーズターミナルも大きい、そこからはみだすほどの大ききで、これからこれに乗るのか、と思うとワクワク。
- 2.船が見えた瞬間、やはり大きいなど感じる。船内はどのようになっているのか、早く乗船したいという気持ちだ。また、隣にサファイアプリンセスが停泊しており、2隻停泊していると迫力がすごい。2隻も停泊できる港機能に感動!

- 3.船がとても大きく建物がそびえたっているようにも見える。遠くから見てもその存在感は大きく、乗る前から期待がさらに高まる。となりにもう一隻大型クルーズ船がとまっていたので、2隻が並んでいるとさらにその大きさが強調され感動だ。
- 4.MRT から直接クルーズセンターに向かったため、初乗船前はボイジャーの全体像が見えなかった。しかし、視察中に船の傍まで行き、その大きさを実感した。船の傍ま到着し、早く乗船したいという気持ちが高まっている。
- 5.その大きさ、圧倒的な存在感を間近で感じて、わくわく感が一層増している。予想通り大きいなという印象だ。絶対に船内で迷うだろうなと少し不安にもなった。おそらく客室も広いのだろうと思い、乗船がとても楽しみになっている。
- 6.クルーズ船を見るのは3度目になるが、やはり何度見てもクルーズ船の大きさには毎度とても驚かされる。今回は、ある程度近づくまでクルーズ船自体の姿が見えないような位置関係になっていたため、クルーズ船が見えるときにはすぐ目の前まで迫っており、今までより迫力は大きい。
- 7.マリーナベイから始めに見えたのが、サファイアプリンセスで、これは大きいぞと直感的にそう感じた。しかしその後ろ側にはボイジャーが泊まっており、サファイアと引けをとらない佇まいで、居座っているのを見て、心躍ったのを覚えている。どちらも外装がカッコよく、まさに豪華絢爛という言葉に相応しい風格だ。
- 8.駅から1キロメートルほど離れていると聞いていたけれどそれほど離れてもいず、すぐにクルーズ客船が見えた。乗船は5月のコスタネオロマンチカ以来で、その船より大きいと聞いていた通り、とても規模が大きくて驚いている。
- 9.ビデオの映像で見たサイズよりとても大きく感じ、非常に迫力がある。前回乗ったコスタネオロマンチカとのサイズの違いに驚いている。前回は大きく上回るスケールだ。いよいよこれに乗るのかという期待がピークに達し、わくわく感が止まらない。
10. 地下鉄の駅を降りて港へ向かって歩いていくと、すぐにとっても大きなクルーズ客船が見えた。遠くからでも分かる、どっしりとしたその重厚感・豪華さに驚くとともに、今から自身がその客船に乗って3泊4日の旅に出かけることを想像してわくわくだ。また、自身が乗る客船の他にもう1隻クルーズ客船が停泊しており、シンガポールのクルーズ客船に対する港湾設備の規模の大きさを再認識している。
11. 自分の視野にはおさまらないほど大きい客船に目を見張った。5月に乗ったクルーズ船を思い出し、それ以上に大きいこの客船でどんな時間が待っているのか、どんな経験をすることができるのか、期待に胸が踊る。
12. あまりの規模感に圧倒されている。いつクルーズ船を見ても、近くで見ると船だという感じがせず、中に何千人も乗っているこの塊が海の上をずんずん走っていくというイメージがつかない。
13. 駅から見えた大きなクルーズ客船が今から乗船する船なのか、と驚いた。携帯のカメラで遠くからとっても全体が収まりきらないほどの大きさで、今まで見てきたどの船よりも大きい。また、港を挟んでもう一隻、同じ大きさの船が停泊していることにも驚きだ。船の上部を見上げるとガラス張り外見もきれいで、ワクワクしている。
14. マリーナベイではボイジャー・オブ・ザ・シーズの全体を把握することはできない。しかし、岸壁から見上げた時には自分がマンションの横に立っているのかと思うくらい客船が大きく見えた。今回乗船する客船も巨大船だとはわかっていたものの、実際に近くで見るとやはりスケールの大きさは圧巻だ。

乗船直後の感想(自分のイメージしていた内容と比較した「船内の様子(パブリックスペース、船員さんの態度)」)

- 1.やはり日本に立ち寄るクルーズと違い、日本語ではないたくさんの言語が飛び交う船内で、それはとても新鮮。また、外のプールが多いことも印象的。

- 2.乗船直後プロムナードに行った際、マリナーオブザシーズとそっくりな内装であることや規模の大きさに感動。また、海外発着のクルーズであることから、船内の雰囲気は乗客・船員を含め日本発着のクルーズと比較して陽気な感じである。
- 3.プロムナードは実際思っていたよりも小ぶりだったが、その豪華さには圧倒された。また、船内を見て回ると楽しそうな施設がたくさんあり、はやく体験したいという気持ちになる。私の部屋の担当のクルーの方は本当に親切で、部屋に戻ってきたときに廊下ですれ違うと挨拶してくれたり会話してくれたり、さらには名前まで覚えて下さっていて嬉しかった。友達もクルーの方の親切さに感心している。
- 4.乗船してすぐに豪華な階段があり圧倒された。プロムナードも広く、きれいだった。マリナーに乗った先輩方が仰っていたように、一つの街が船内にあるようだ。大きい船はやはり内部のスケール感も違うなど感じる。
- 5.映画のようなクルーズのイメージそのものだった。とくに、ダイニングルームが三階建てでとても広く、写真映えもしてわくわくした。船員さんの態度もとてもあたたかく親切で、仕事に対して一生懸命な人が多いという印象を持つ。あとから、インセンティブのためだということがわかったが。
- 6.今まで乗った船と同じく、客室担当の船員さんはフレンドリーで、気さくに挨拶をしてくれ、今後の楽しいクルーズ船での生活を予感させるものだ。客室は(自分の知識不足もあるが)ダブルベッドであるということは知らず、面食らった部分もある。
- 7.船内の設備は自分の想像以上であった。プロムナードや大階段の壮大さはびっくりするほどであり、これがラグジュアリーかと思った。自分の部屋もベッドが綺麗に整えられており、さすがだなと感じた。また非常にインド人が多いなども感じた。
- 8.インドからのお客さんが多かったですが、いろんな国から来た人々が乗船しており、乗船国が外国であることを実感した。船員さんはいつもにこにこ対応してくださり、いつでもわからないことがあったら聞いてねととても丁寧で嬉しい。
9. 船内の一つ一つの施設の装飾や作りがおしゃれだ。(ロイヤル・プロムナードやパブリックのラウンジ)クルーの人たちは非常に国際色豊かだが、日本発着でないので日本語が分かる人がいるかどうか不安だ。メインで使ったレストランも見たが、非常にきれいなデザインで印象に残る。
10. ガラス張りのエレベーターから内装や吹き抜けを眺めて、イメージ通りの豪華さにうきうき。また、乗船直後に早速カフェ・プロムナードで軽食を取ったが、とても美味しい。さらに、自身の部屋を担当するハウス・キーパーの方が気さくに話しかけてくれるとてもフレンドリーな方で、船員さんのサービスにも感心。
11. 船内に足を踏み入れたとき、それがクルーズ船という閉ざされた空間だということのを忘れ去ってしまうような広さの内装に、これから始まる3泊4日への期待がますます高まり、興奮している。自分の描いていた船内の様子より、はるかに広く、美しい空間に、まるで別世界を訪れたような気分になる。
12. 最初乗船する直前にパスポートを回収され、訳が分からず焦っている私たちに対し終始笑顔のクルーさん達を見て、このままどこかへ連れ去られてしまっても誰も気づかないのではないかという考えがふと頭をよぎる。
13. 船の中は窮屈なイメージだったけれど、ホールは吹き抜けて天井の高さもあり、そのようなイメージはなくなった。部屋も同様に、窓がないため圧迫感があるのかと思ったが、適度に広く清潔だったため快適に過ごすことができそうだ。船員さんは、明るく笑顔の人が多く好感を持てる。
14. 無事手続きを終えて、ターミナルから渡って乗船してすぐは乗船した実感はまだない。しかし一つ上のフロアからカフェやショップが並ぶプロムナードを見渡した時には別世界の空間にワクワクし、これからの3日間がとても楽しみになった。どの船員さんもすれ違うたびに簡単な挨拶を交わして暖かく迎え入れられている気持ちがとても嬉しい。

避難訓練と安全対策への感想

1. 日本語ではなく英語なので、やはり少し不安はある。ただ、避難場所などはわかりやすい。
2. 避難訓練等に関しては、十分ではないように感じる。一昨年乗船したコスタでは、救命胴衣を持って避難経路の確認まで行っていたことと比較すると簡素だ。また、ざわついた状況で行われていたため（私個人の語学力の問題もあると思うが）、気づいたら終わっていた。
3. 避難訓練自体は短時間であったものの、待ち時間が非常に長く、日の照るところでの待機だったので少々しんどかった。しかし、全員をそろえて避難訓練をするというルールが徹底されていると感じたので安全対策はしっかりしていると感じる。
4. コスタネオロマンチカの方が避難訓練をしっかりやっていたので、「これで終わりなのか」というあっけなさを感じる。集合場所のデッキが分かりづらく、私たち以外にも混乱している人が多く見受けられたので、もっと表示を分かりやすくし、船内図にも書くなどの工夫があったほうがいいのではないかと感じる。
5. 避難訓練は思っていた以上に簡略化されており、すぐに終わって拍子抜けした。訓練の内容を聞く時間に対して、待ち時間が長すぎたように感じる。あれで本当に安全対策が十分であるかは少し疑問を感じる。ただ気持ちとしては、早く終わって楽だったのが正直なところだ。
6. 避難訓練は、今までに乗ったクルーズ船よりも簡単のようだ。今までは日本発着ということもあり、日本語の話せるクルーが詳細な説明を行ってくれていたが、今回はいるだけで終わった。ただ、自らのパスカードに避難場所が明記されているのはすごくわかりやすく、いい取り組みである。
7. 避難訓練では、参加忘れの乗客を待つべく、開始時間が少し遅れていた。これは乗船時に、念入りに参加の確約と時間を伝えていれば済んだことなのかなと感じた。訓練の内容自体はスムーズなものであり、あっさり終わったので、自分としては良かったが、これならわざわざ出向く必要もあるのかなと感じる。
8. 避難訓練はコスタネオロマンチカとくらべてゆるいなと感じる。部屋と人数があっておらず、説明している係の人が見えにくかったです。また、口頭説明だけではなく救命道具などを用いた実技も重要だと感じる。
9. 船が大きく、乗船定員も多い分エリアが4つに分かれているのはとても大変だ。実際に救命動議を着て自分でも試しに来てみる訓練のほうがいいと思う。そのほうがもっと緊張感が出る。しかし、訓練中の携帯電話や私語を強く禁じたのは緊張感を持たせるのには良い。
10. 正直、英語による避難訓練と安全対策の説明を自身がどこまで理解できていたかは分からないが、ジェスチャーも交えながらの説明だったのでなんとか理解できていたと思う。ただ、日本人のクルーズ利用促進という観点から考えると、(日本語に限らず)もう少し言語の壁を考えた避難訓練や安全対策が実施できれば、安心度は増すと思う。
11. 前回も感じたことであるが、数千人の乗客を安全に避難させるために、きちんと安全対策がなされていることに安心する。また、日中もプールサイドでプールの監視員の方が救命の練習をされているのを見て、安心して楽しむことができる。
12. 暑い日差しの中かなりの時間(体感では三十分ほど)待たされ、イライラしている乗客も多かったのではないと思う。確かに乗客全員に避難訓練を受けさせるというコンセプトには賛同する。しかし9割以上揃っている乗客を何十分も待たせてしまうのはどうか。しかも実際の説明は1分ほどしかなく、なんだか拍子抜けした気分になった。

それほど短い説明ならなおさら、来なかった数十名には後で個別に説明等すればいいのではないだろうか。

13. 避難訓練は、あまり役に立っていないように思えた。全員が集まるまでの時間が長く、また集合場所が外で気温も暑かったため、周りの人は疲れており真剣に聞いていないように見えた。船員さんが救命道具の説明をしても、実際に自分で使ってみなければいざという時に役に立たない。
14. 安全のために必要不可欠なことは承知の上だが、全員で一度に行うため、猛暑の直射日光が当たるところで他の船客の人を立って待つことになり、少し疲れる。安全対策面では、船内のアクティビティでもヘルメットを着用し、監視員の目が行き届いており、特に危ないと感じる場所はない。

クルーズ船としての船内施設（ハード面）全体の感想（船内施設・施設のレイアウト（吹き抜け）など）

1. 本本当に豪華な装飾がそこかしこに施されていて、船の中とは思えない綺麗さだ。吹き抜けがあるのでより大きく素敵に見え、反対側へ行きにくいという難点はあるものの、それを補ってありあまるほどエレガントな空間だ。
2. 船自体が大きいことから、スポーツアクティビティやシアタールームなど充実している。プロムナードやカジノなど、豪華で非日常間を楽しめる内装になっている。客室も、（同じグレードの客室だと思うが）以前乗ったマリナーより少し大きく快適だ。
3. クルーズ船内のレイアウトに関しては、階段を上らないと通り抜けない箇所があったため慣れていないうちは迷いそうになるが、場所を把握してくると大丈夫だ。船内にも地図が多くあったので助かる。プロムナードや船内の装飾はゴージャスであるが、カジュアルな服装でも歩けるような雰囲気なのでちょうど良い。
4. 船自体が大きいので、吹き抜けやプロムナードも大きく、船の中とは思えないような開放感がある。ロッククライミングやアイススケートもあり、船の中にいることを忘れそうなほど様々な施設があり驚いている。
5. 施設はすべてきれいで、船の中にいるのを忘れてしまうくらい本格的だ。プロムナード通りは、お洒落な街のショッピングモールのように、歩くだけで楽しい。部屋のシャワールームもきれいで快適だ。エレベーターの稼働が追いついていないのが少し気になるが、そこから見る船内の景色もまた良い。
6. まず目についたのがデッキ5の大吹き抜けだ。以前同じような船に乗船したことのある先輩から「船が町みたいになっているよ」といわれていたが、その言にたがわず、町かイオンモールの中のように、とても船の中にいるとは思えない。また、階段などの装飾も素晴らしく、どこを切り取っても絵になるような美しい内観だ。
7. クルーズの吹き抜けはとても印象的なものであり、上からでも下からでも、その豪華さを楽しめるというところがすごい。また入っている店舗はどれも高級ブランドばかりで、なかなか学生が気軽に立ちよれる店ではないが、これがこの船の客層のレベルを反映しているのかな。
8. 船内設備が充実しており、とくに屋上のゴルフやボウリング、サーフィンやスケート場などの娯楽施設ではとても楽しい時間を過ごすことができる。大きく吹き抜けをつかうことで豪華な内装になっており、感動。
9. 船内施設は非常に充実していて、何日間旅をしても飽きることはないだろう。フローライダーやボウリングは初めてできたのでいい経験になる。ロイヤル・プロムナードの吹き抜けは自分が船内にいることの間を忘れさせるほどのとてもよくできた造りだ。船内にあのような大規模な吹き抜けがあるのは船の中でもそれほど多くはないのでは。
10. スケート・リンクやロック・クライミング、フロー・ライダーなど、アクティビティ施設が充実していたことはもちろん、カフェ・バーの多さ及び吹き抜けや大きなストリートな

どの豪華レイアウトには、自身が船の中にいるとは思えない、まるで1つの街にいるかのように錯覚する。ただ、船首で見られるはずだった「コックピットを覗く窓」が閉まっていた点は少し残念だった。

11. クルーズとしてではなく、ホテルとしてですら経験したことのない立派な吹き抜けのダイニングに、その贅沢さを実感する。また、施設の装飾も綺麗で、まるで映画のなかにいるような気分だ。
12. 吹き抜けのエレベーター付近のエリアは絨毯が敷き詰められており、高級感が漂う。しかしブランドショップあたりのアーケードゾーンは想像よりも小規模だった。事前の動画での撮り方がそう見えたのか、もっと道幅が広いものを考えていた。プールのエリアは思っていた以上だ。いくつものプールがあり、デッキにジャグジーに、見栄えするシアターは圧巻だ。
13. 船内施設は、清潔で広く使いやすい。また、深さの違うプールやジャグジーに入りながら映画を見ることができ、とても贅沢な時間を過ごすことができる。しかし、施設によっては4階や5階のパブリックスペースを渡り、別のエレベーターで上り下りしていかなければならない場所もあり、慣れるまでわかりにくい。プールやジャグジーの脱衣所があると、濡れた水着などを片付けることができるため便利なのではないか。
14. ジムやジャグジープールなどの設備はこまめにきちんと清掃が行き届いており安心して利用することができる。フロアによっては端から端に移動できず、不便さを感じることもある。しかし、プロナムロードのフロアは船内にいることを忘れるはとても開放感があり、全体を通してとても華やかで、自分がとても贅沢な空間にいるなど実感できる。

"船内サービス(ソフト)の感想

- ①「レストラン・カフェ・バーでのメニューについて」、
- ②「レストラン・カフェ・バーでのサービスについて」、
- ③「キャビン清掃、ホテルレセプションについて」、
- ④「カジノについて」、

1. 1の食事は、以前マリナーオブザシーズに乗った時よりも美味しくなっているように感じました。ジャンキー感も薄く、日本人好みの味付けのものも多い。なにより、コースを何品頼んでも良いのが最高!2,3についてはどちらも素晴らしく、拙い英語でも懸命に理解しようとしてくれるのがうれしい。いつもフレンドリーで笑顔で話しかけてくれて嬉しい。
2. レストラン・カフェの食事内容は2年前よりも確実に美味しくなっている。また、ハラルフードやインドカレーなど、乗船客に合わせた食事内容になっていて面白い。キャビン清掃を担当してくれたクルーはとてもフランクで、名前を覚えてくれたり、すれ違うたびに声をかけたりしてくれるのでうれしい気分になる。
3. ①メニューは毎日違ったもので、種類も豊富であり毎回楽しみだ。②サービスも満足のものだ。ディナーの時のパフォーマンスなどもあり楽しい。③特に不満もなく、十分満足のものだ。④カジノに入っていないのでわからないが、次回クルーズに行った際は挑戦してみたい。
4. ロイヤルカリビアンはアメリカの会社なので、食事の量や味などについては少し不安があったが、実際食べてみると美味しく、量も多めではあるものの食べることができるサイズだ。メインダイニングはとても大きく、写真で見て想像していたよりも広い。スタッフの皆さんはきびきび働いていらっしゃるって、プロのすごさを感じる。
5. ①アメリカ船と聞いてあまり期待していなかったのに、食事は予想していたより、とてもおいしい。②昼食の時に、取って混ぜてくれる、ロイヤルカリビアン恒例のサラダがとてもおいしい。③スタッフの人もみな日本語を混ぜながらニコニコと親切で印象が良い。

- ④カジノは利用していないのでわからない。
6. ①上記のように、アメリカ船ということで料理が大味なのではないかという懸念はあったが、自分にとっては十分満足できるものだ。(何人かの友人は甘すぎる、量が多すぎるなどの不満はあったように思うが。) ②レストランでは、有料オプションを進めてくるクルーが目立つ。仕事なので仕方がないが、数回断ったら引き下がってほしいとも思う。
7. ①どれもとても美味しいし、自分的には飽きないメニュー設定であり、非常に満足である。②ケーキが特に美味しい。また選べる種類も豊富で、無料で気楽に楽しめるメニューとしてはものすごいクオリティのように思う。③ベッドメイキングはもはや職人技であり、自分たちが脱ぎ散らかした衣服まで綺麗にたたんでくださっているのが嬉しい。④1時間ほどカジノを楽しんだが、ディーラーにチャージの金額を間違えて伝えてしまい、請求の時点で0が一桁増えていてしまった。サインする時にレシートをよく確認しておくべきだった。
8. コーヒーや紅茶がいつでも飲めるため、船上でデッキで星を眺めながら飲むことができ、とても至福なひと時だ。鍵を船内におき忘れた時、代替の鍵をレセプションで作ってくださり、とても助かった。カジノは利用していないが、たくさんのひとでいつも賑わっている。
9. メニューも欧米圏向けのメニューだけでなく、アジアとりわけ、インドや橋を使う文化圏の料理も用意されている。カフェ・プロムナードでは次の客が満足に休憩できるようにすぐに空いたコップや皿を片付けていて、非常に気持ちが良い。部屋の清掃はとても行き届いていてベッドに置いておいたパジャマもきちんとたたんでベッドの橋の台においてくれているのはとてもうれしい。
10. 上の質問2「特に満足したポイント」にも書いた通り、船内での食事は期待以上のものでもとても良い。メニューも豊富だ。また、夜に訪れたバーでも、とてもおいしいお酒が飲めて非常に満足だ。②サービスも基本的には良い。料理が出てくるタイミングも適切で、サービスで困ることは無い。ただ、特に乗船日、船内でのドリンク飲み放題を勧めるウエイターの押し売りが少しくどかった。③清掃もよく行き届いている。客室のベッド・メイキングも綺麗だし、船内も綺麗だ。ただ、雨漏りによってずっと床が濡れているところが放置されていた点は少し気になった。④カジノを利用することはなかったが、他のお客さんが笑顔でカジノを利用していたことを考えると、サービスは良いのだろう。
11. 多種多様なメニューが提供されており、食事への不安を抱える人は少ないだろう。②たしかに日本のサービスには劣るのかもしれないが、各テーブルに常に気を配ってくださっていて、楽しんで食事することができる。③清掃の方が、タオルでゾウやクジャクを作って残してくださっていて、キャビンに帰るのが楽しみになる。④利用していないが、その大きさはちょっとした娯楽施設を超えていて、そこを横切るだけで少し緊張する。
12. 種類はコスタの方が多と感じたものの、一品一品のクオリティーは高く文句は出ない。②にこやかに接してくれるスタッフが多い。③清掃員の方とお話する機会があり、その時にその方が日本語も話せる事がわかり、うれしい気分。もちろん全員が日本語が話せるわけではないが、一般的なホテルの清掃員も東南アジア系なのは同じなのに、2~3ヶ国語話せたりと、(当たり前かもしれないが)随分教育されているのだなと感じた。④客の全体数に占めるインド人の割合に対してカジノに来て遊ぶインド人は少なく、対してカジノは中国富裕層の利用が多いなと感じる。
13. ①日本語のメニューが用意されているのは、満足度を向上させる。また、さまざまな文化の料理を楽しむことができるのも素晴らしい。②頼んでから料理が出てくるまでの時間が短く、船員さんが頼んだ料理を間違えることはなかった。③ベッドの上に放ってあった服まできれいに畳んでくれていた。動物の形を模したタオルなどがあり、面白い。部屋へ戻ることが楽しみになる。④カジノは使用していないけれど、多くのお客さんと賑わっていて面白そうだ。たばこのにおいはとても気になった。

14. 前菜、メインそれぞれに多種多様なメニューが用意されているので、毎食飽きることなく食事を楽しむことができる。②24 時間営業のカフェは少し人出が足りず、スペースが狭いように感じる。③清掃スタッフは、こまめにコミュニケーションをとってくれるし、快適に部屋で過ごせるように清掃してくれる。④実際にカジノはしていないが、カジノフロアを通る際、タバコの匂いが少し気になる。

船内の SHOW やエンターテイメントの感想【船内鑑賞イベント全般・スケートショー・シアターでのマジックショー・プロダクションショー（自分自身のダンス体験などは次の体験欄に）】を書いてください。

1. 船内のイベントはどれもクオリティが本当に高い。特にアイスショーは必見で、目の前でプロの技が繰り出されることに感動した。シアターショーも、ダンス、マジック共にとても広いシアターで楽しく鑑賞できた。
2. 乗客参加型のダンスパーティーなどは、インド人の乗客が多かったことから日本発着の船とは雰囲気が大きく異なり、とても盛り上がっていた。スケートショーは照明や音楽などが華やかで、とても楽しむことができる。ショーにストーリーがあったのかもしれないが、イマイチ掴めず分からなかった（ショーを楽しむうえで問題はない。）。
3. エンターテイメントショーの種類やそのクオリティは非常に素晴らしく、船上であるということのを忘れるほどだ。特にミュージカルに関しては、シアターも広く、上演時間も長く、お金を払って見に行くようなレベルのもので感動。乗客のニーズに合わせてインドの音楽を取り入れたりしており、とても興味深いものだ。
4. スケートショーや舞台など、いろいろなショーがあり、毎日違うショーを楽しむことができた。その中でも特に、舞台が印象に残っている。船が大きいからこそ奥行きのある舞台を設置することができ、オーケストラを配置することができていて、臨場感のある舞台だ。船上であのようにきちんとしたショーを見ることができるとは思っておらず、良い体験ができた。
5. シアターで行われたショーは本当にクオリティが高いものだった。歌やダンスはもちろんバンド演奏もライブなのが最高だ。アイススケートもレベルが高くて、かっこよい。船の中でこんなにエンターテインメントを楽しめるのは、予想をはるかに超えている。
6. シアターでのマジックショーは素晴らしいものだった。2 階席もある大きな会場ではあったが、乗客も巻き込んだ距離の近いマジシャンの方のパフォーマンスのおかげで、クオリティの高いマジックを気負わずに楽しむことができる。プロダクションショーも、船内の客に合わせた内容で、ホスピタリティーを感じる。（自分にはあまりなじみのない内容ではあったが、楽しめた。）
7. スケートショー、マジックショー、ダンスショー、どれも素晴らしいものであったが、一番印象に残っているのが、マジックショーだ。マジックの腕前もさることながら、話術が非常に巧みで、何としても観客を笑顔にしたいというプライドが伝わってきて本当にかっこいいし、軽い嫉妬を覚えるくらいだった。少しマジックを練習してみようかなという気にもなる。
8. アイスショー、マジックショー、ミュージカルショーを観覧したが、どれも大迫力で感動的だった。観客を巻き込む演出がとても楽しい。毎晩変化するので毎日楽しみにして過ごせる。
9. アイスショーでは、船の中でのあのような派手な演技（1回転のバク転など）を行えるのはすごいと思う。シアターでのプロダクション・ショーも非常に内容のしっかりした物でこれらの内容を課金せずに見ることができるのが、やはりクルーズならではの良さであると思う。マジックショーでは大小さまざまな演目を見ることができ非常に満足だ。マジシャンの人に拍手を送りたい。全てのイベントは非常に凝った演出もしていて非常に見る価値がある。もっとやってほしい。
10. シアターでのマジック・ショーと最終日のプロダクション・ショーが特に印象に残っている。とても楽しめた。どちらも、老若男女が国や言語の壁を越えて楽しめる内容で、出演者と観客が一体になっていた。日本では体験できないような国際交流の雰囲気が作られてい

と思う。参加できて本当に良かった。

11. 船内のショーのなかでもとくに、アイスショーは今まで生で観たことがなかったので、スケートの靴が氷を削る音までも聞こえる臨場感を感じながら、プロの演技を観ることができてとても感動した。
12. スケートショー自体あまりお目にかかる機会がないが、観客参加型のものやルーレットによって誰が舞うかわるといった限定感が味わえるショーは、本当に満足度の高いものだった。しかし3日目の夜のシアターでのショー（懐かしいメロディーと共に）は、その音楽をあまり知らない私からすると少し盛り上がれなかった。
13. スケートショーは内容が濃く、とても楽しむことができた。1列目に座ったため、選手がより近く、いつもテレビで見ているジャンプなどの技を身近で見ることができた貴重な体験になった。マジックショーでは、たとえ言葉はわからなくてもマジシャンの熱量と魅せる技で楽しませてくれた。
14. 全てのショーやエンターテイメントを観劇し、予想以上のクオリティーの高さに驚いている。どのエンターテイメントもわかりやすい英語、有名な音楽を使用しながら演出されているので、理解できずに困るという場面は少ない。個人的には最終日のショーがとても気に入り、歌手たちの歌唱力の高さには感動した。追加料金を払ってでも見たい!と思えるほどの内容である。

船内の施設での体験に関する感想（スポーツ体験：ロッククライミング、フローライダー、スケート、ジムなど、体験型イベント：ダンス PARTY、ビンゴ、ワインテイastingなど）の感想

1. プールで遊んだことと、フローライダーがなによりの思い出だ!フローライダーのようにサーフィンやボードはやったことがなくとても不安だったが、やってみるとスタッフの方が優しくサポートしてくれて、無事に立って並みに乗ることができた!
2. アクティビティはとても充実しており、どれも満喫することができた。今までのクルーズは気温が低く、プールに入ることができなかったが、年中常夏のシンガポールであったことでプール・ジャグジーに入ることができた。スポーツ体験に時間を割いて、イベント体験にはあまり参加できなかったのが残念だ。次回挑戦したい。
3. 挑戦してみたいと思っていたができていなかったロッククライミング、サーフィン、スケートをこのクルーズで一気に体験することができて非常に楽しかった。このクルーズの一番の思い出はこれらの体験型アクティビティである。クルーの方が丁寧に教えて下さるので、初心者でも楽しむことができた。身体を動かすのが好きな人には最高のクルーズだと思う。
4. ロッククライミングを初めて体験することができた。一度はやってみたいと思っていたので、とても楽しかった。そのほかにもスケートやジムなどに行くことができ、追加料金なしでさまざまなことを体験できるのが良いなと思った。
5. 今回のクルーズで一番満喫したのがアクティビティだった。アイススケートは本当に船の上でやっている実感がなく、インド人に応援されながら楽しんだ。ロッククライミング、サーフンはデッキでやるので、景色がとてもよかった。インド人のダンスパーティが楽しかった。
6. 今まで実際の氷の上でスケートをしたことはなく、まさか船の上で氷上スケートをするようになるとは思ってもみなかった。ロッククライミングやフローライダーも生まれて初めて体験した。こうした普段はなかなか手を出さないアクティビティに気軽に手を出せる点はよい点だと思う。
7. 船内アクティビティに関してはもはや文句のつけようのないくらい楽しませてもらえたとし、使い倒した感じがしている。そのようにして船内でも活発に動いていたからか、あれだけたくさん料理を食べていたのに、帰国後体重が5キロも落ちていた。またアクティビティを通じて海外の人と交流できた点も非常に良かった。
8. スケートを 10 年ぶりくらいに体験しました。前日にアイスショーがあったため、自分もやってみたいという気になったのでとても良かったです。あまりできなかったけれど、みんなと新しい

体験ができて新鮮でした。

9. 船内にアイススケートがあるのは驚いた。また、ロッククライミングやフローライダーは初めてだったのでいい経験になった。ロイヤル・プロムナードでのダンスパーティは非常に盛り上がったが、非常に狭いので踊っていると人の足を踏んでしまうのがネックだった。非常にたくさんの種類のアトラクションがあったので、3日ですべてまわるのは厳しかった。
10. プール・ジャグジーとフローライダーでの体験がとても楽しかった。夜のカラオケで歌ったこともよく印象に残っている。まず、天気が良く気持ちのいい空のもと、洋上でプールやジャグジーに入ることはクルーズの醍醐味であり、今回はそれを終日航海日に満喫できた。以前乗った日本発着のクルーズ船と比べて、今回の客船はプール・ジャグジー共に充実しており、とても満足している。また、今回の客船に乗らなければチャレンジすることは無かったであろうフローライダーも非常に楽しかった。さらに、夜のディスコでカラオケをして、そこにいらっしやっった中国人の方々と交流できたことも思い出になったと共に、これからはもっと世界各国の曲を歌えるようになっていこうと思った（今回は英語詞の曲だったので）。
11. 体験したことのないアクティビティや、自分の好きなアクティビティがたくさんあって、毎日とても充実した時間をすごせた。今回は前回よりもダンスの時間が少なかったように感じ、それが少し残念だった。
12. ボルダリングを初めて経験したのが海上だというのは、私にとって大変心に刻まれた貴重な経験だった。担当のお姉さんもとてもフレンドリーで優しく、好感が持てた。またジムも利用させてもらったが、たくさんの器具が完備されておりいろいろ試してみたいくなった。
13. ダンス PARTY では、全く知らない人と一緒に楽しんだ。ダンサーの方も観客と一緒にフロアに降りてきて、踊ったことで、観客全員で謎の行進をするなど貴重な体験をした。フローライダーでは、一瞬ではあったものの波に乗ることができとても面白かった。スケートやロッククライミングなども陸地でもなかなか体験できないので良い機会になった。ジムでは、海を眺めながら体を動かすことができとても気持ち良かった。
14. プロムナードで行われていたダンス PARTY はとても楽しめた。橋の上で踊るダンサーの真似をしながら懐かしいディスコミュージックに合わせて踊り、周りを見渡した時に老若男女様々な国籍の人たちと楽しめていることがすごく嬉しかった。他にもロッククライミングやスケートなど日本ではあまりする機会がないアクティビティにも挑戦することができた。

乗下船港(シンガポールのマリーナベイクルーズセンター)での視察の感想(港・ターミナルのアクセス、施設評価、乗船時対応)の感想を書いてください。

1. マリーナベイクルーズセンターは、今までに見たどのクルーズセンターよりもきちんと整備されている施設だと感じた。日本のクルーズセンターは、仮設テントのような建物や簡易的な手続きしかしていないところが多いと思うが、こちらのクルーズセンターはスタッフ数も多く、動線も考えられているためストレスなく乗船・下船できる。大型船と小型船でセンターを分けている(セントーサの近くにシンガポールクルーズセンターがある)というのも、岸壁の稼働率が高い要因かと感じた。
2. クルーズセンター自体が常設の施設であり、全体的にしっかりしていて船を受け入れる用意が整っている印象を受けた。特に、イミグレは日本の港と比べ物にならないほど設備が整っていた。また、クルーズセンターのみで完結するのではなく、空港や航空会社との連携(荷物の輸送やチェックイン)は感動した。
3. クルーズターミナルは、大勢のクルーズ乗船客を受け入れられるように動線や設備の場所が考慮されており、乗船までの流れは比較的スムーズだった。下船の際も、大勢の人が列をなしていたが、手続き等は比較的早かった。ターミナルへの電車でのアクセスはよかったが、駅からクルーズセンターまでの道が思ったよりも長く、重い荷物を持っている人にとっては疲れるかもしれない。
4. MRT から一本道で繋がっていて、迷うこともなく分かりやすかった。屋根もあったので、雨が

降っていても歩きやすいと感じた。これまで国内や釜山のターミナルに行ったが、それらのどこよりも大きく立派な施設だった。シンガポールがクルーズ誘致に力を入れていることを感じた。

5. マリーナベイのクルーズセンターは、とてもきれいでわかりやすい構造だった。乗船前に説明してくれたスタッフの方が大変親切だった。乗船手続きの方々もみな、空港のスタッフよりも丁寧で親切な印象を受けた。
6. さすが設備の進んだシンガポールのクルーズセンターということもあり、空港並みのスムーズな手続きで乗船することができた。また、クルーズセンターと空港を結ぶサービスもあり、これは国土の小さなシンガポールならではの取り組みなのかもしれないという思いも感じた。
7. 日本でクルーズの招致に向けて各港が設備を充実させる中、シンガポールのそれはまさにお手本となるような施設であった。市街地へのアクセスが容易。埠頭はそれなりの規模がある。施設内の設備も整っている。挙げればきりが無いほど、素晴らしい施設だったように思う。また最寄り駅から港までも、沿道に花が植えられていたりして、殺伐としたものでないところも工夫されている。
8. 初めてシンガポールを訪れた。施設はテレビでみたとおりに壮大で全てが大胆で圧倒されました。港・ターミナルのアクセスはよく、乗船時対応もスムーズでとてもよかったです。施設間も歩ける距離だったのでそれほど疲れなかった。
9. 普段は見れないクルーズセンターの裏側も特別に見せていただいて非常にいい経験になった。港まで MRT が伸びていてアクセスは良かった。また、乗船ターミナルまでの道が一本道になっていたのは迷いにくくなってよかった。マリーナベイクルーズセンターについて丁寧に説明していただけただけなので僕らでも容易に理解できる説明だった。
10. まず、地下鉄の最寄駅とマリーナベイクルーズセンターの距離が少しある割に、案内の表示等が少なく、道に迷ってしまった。施設の中は、やはり毎日たくさんの客船が停泊することもあり、スペースの使い方や導線等、洗練されていたと思う。ただ、入船時の手続きをしていた従業員の方は不慣れな人が多く、入船するのに結構時間がかかった。
11. シンガポールを知る人であれば誰もが知っているであろうマリーナベイサンズに、視察というかたちで訪れることができて、貴重で自慢できる経験となった。従業員のユニフォームが置いてある部屋に入れてもらったときには、その数にサンズの規模の大きさを感じた。
12. 荷物をそのまま空港に送ってチェックインまでしてくれるというシステムには感動した。しかしこれはまだシンガポールにしかないらしく、是非他の港にも普及して欲しいと思わされるような画期的でお客様への考えだと感じた。また施設は綺麗で掃除も行き届いており、また利用したいと思えた。
13. 港の最寄り駅まで、さまざまな路線が入り組んでいたため、どこからでもアクセスしやすかった。港はとても込み合っていたが、チェックイン後はスムーズで思っていたより簡単に乗船することができた。視察では、ちょうど2つの船が港にいたため、客層の違いを見ることができ、また乗船から下船までの流れをイメージすることができた。
14. 一日で多くの船と人が行き交う場所でより効率よく、わかりやすく、便利に利用できるようにターミナル設備が工夫されている点がとても興味深かった。公共メトロで市街地、空港からのアクセスが可能のため、寄港地としての魅力、そしてチャンギ国際空港との受託荷物の連携により、海外からの利用者にも便利なサービスを実施している点に今後ますますの成長性を感じることができた。

スマートクルーズアカデミー船内企画【日本語コーディネーターとの意見交換会、スポーツ大会、勝手にフォーマルナイト）など】についての感想と今後の要望

1. 日本語コーディネーターの方のお話を聞いたのはとても面白かった。徐々にクルーズ船が日本で人気になってきているとはいえ、なかなかまだイメージが「高級」というままで止まっていることを痛感した。また、勝手にフォーマルナイトは、目立っていたのは少し恥ずかし

- かったものの、それを契機に話をできた他の乗客の方がいたりして楽しかった。
2. 日本人コーディネーターの方にお話を伺う貴重な機会を得ることができ、船をより楽しむことができた。フォーマルナイトはクルーズの大きな楽しみの一つだったため、ゼミ内だけでも行う価値はあると感じる。船内でスマホが通じない点で、グループでの時間管理やスケジュールの調整方法は改善していく必要がある。
 3. ボイジャーの日本人コーディネーターの方のお話を聞き、とても大変そうな仕事ではあるが楽しそうにお仕事されている姿が印象的であった。一方で、あの大きな船に日本人のコーディネーターが一人しかいないということに驚きだった。まだまだ海外発着のクルーズが日本人に普及していないからなのかなと思った。フォーマルナイトでは、インドの方がサリーを着ていらっしやだったので、浴衣を着ればよかったと友達とも話していた。今度は日本の文化としての浴衣を着て、海外の方とファッションの交流ができたらいいなと思う。
 4. クルーズ船に乗るだけでなく、働いている方とお話ができる機会を設けていただいたり、大人数だからこそ楽しめる企画があったりして、船内を一層楽しむことができた。今後も、自由に船内を楽しむ時間だけでなく、こうした「スマートクルーズアカデミーならではの」クルーズの楽しみ方ができるような機会を設けていただけると嬉しい。
 5. 日本人コーディネーターの中筋さんの貴重なお話を聞くことができたのがよかった。日本人のクルーズ振興のためには絶対に必要で、大変だけれどやりがいのあるお仕事だなと感じた。船内企画はすべて全力で楽しむことができ、船内のほかのお客さんとも交流することができ楽しかった。
 6. クルーズ船の日本語コーディネーターの方との意見交換会は、就職活動を控えた私にとって、新たな刺激を貰える会であった。単身海外に渡った方が、まわりまわってクルーズ船の日本語コーディネーターをするという一般的な「キャリアのジョウシキ」からはずれたキャリアを歩まれてる方を目の当たりにし、刺激を受けた。3年生にはこのような機会があるのも有意義なものではないかと感じた。
 7. 今回のクルーズは初めて日本を離れた企画であったため、より日本人というアイデンティティを強く意識した四日間であった。そのため、フォーマルナイトも楽しかったが、日本の正装(?)として浴衣パーティーがあれば、より海外の方とも触れあう機会が作れたのではないかと感じている。日本人コーディネーターの方との意見交換会ではこのような職種があるということも初めて知ったし、何より彼女のバイタリティーの高さに驚くばかりであった。一方でクレームをつける、日本の富裕層の底知れない凶々しさに落胆した。
 8. 日本語コーディネーターとの意見交換会は特に印象的だった。一年のほとんどの時間を船上で過ごし、さまざまなトラブルやクレームに対応しお客さんの笑顔のために働いているという日本人コーディネーターの方はかっこよく、やりがいのある仕事を考える上で、とても刺激になった。
 9. 普段なかなか聞けない船内コーディネーターの方の裏話を聞くことができるのはいい経験になったし、自分がどうしてこのような職種に就くようになったかの経緯を聞き、自分のこれからの人生の参考にしようとも思った。ゼミの人たちと一緒にスポーツすることは今回のクルーズのスポーツ大会くらいしかないのととてもよかったし、楽しかった。みんなが想像以上に運動神経がよくて驚きだった。
 10. SCA 船内企画について、どれも面白かった。特に、日本語コーディネーターの方との意見交換会は非常に興味深いものだった。どの内容も刺激的で、自身もがんばろうと思える、やる気の出る内容だった。ただ、意見交換会の時間が少し短かったことが残念だった。今後はもう少し、こちら側もあらかじめ質問等を考えながら、より深い議論をしてみたいと思った。なお、今回の船内企画は、全員参加なのか自由参加なのか曖昧になってしまっていたところもあったので、海外で携帯電話が使いづらいことも考慮して、前もって集合場所・時間や出欠をより明確にすれば、もっとスムーズに時間を使えると感じた。
 11. 日本語コーディネーターさんとの意見交換会では、自分が今まで描いてこなかったようなキャリアを積まれていて、その生き方がかっこよく見えた。今後もこのように職員の方などの、

背景を知ることができるような企画があれば嬉しい。

12. 私も将来海外で働きたいと思っているため、日本語コーディネーターさんとの意見交換会は海外で働く女性像を間近で見ることができたという意味でとても貴重な経験だった。前泊のシンガポールでの事もあり、数日間朝から晩まで同じコミュニティで過ごすことがとても窮屈に感じてしまう性格のせいで、スポーツ大会には参加する気が起きず参加できなかったことが残念だ。
13. 中筋さんのお話を聞いて印象的だったのは、今回のクルーズではほかの国のコーディネーターはいない、ということだ。英語や中国語は船員さんがしゃべることができるが、日本人はそれらの言語があまり達者でない。この話を通して他国から見た日本人、が少し見ることができたように思う。勝手にフォーマルナイトの皆さんは、とてもきれいだった。私自身、なかなか着飾る機会が今までなかったので、フォーマルナイトがとても楽しかった。
14. 意見交換会では、コーディネーターとしての仕事の大変さとやりがいについて聞くことができた。船内新聞では単に英語版の内容を翻訳するだけでなく、補助説明などを加えて制作してくださっているのを見て、裏でサポートしてくださっていることに感謝した。あの新聞だけでも日本人観光客は安心して乗船できると思った。フォーマルナイトでは普段と違った雰囲気ですぐに食事をとることができ、とても楽しかった。

"海外発着のクルーズ船での「飛んでスマートクルーズアカデミー企画」についての感想と今後の発展のあり方への意見<※通常のアカデミーは日本の港で発着しますが、今回は発着を海外の港湾で行いました。">

1. 海外発着ということで、現地までの航空の手配やホテルの検討などよりハードルは高くなりましたが、その分日本発着時よりも国際色のある楽しいクルーズとなった。若干費用がかさんでしまうので、それで躊躇してしまうことも多いことが課題かと思うが、学生には良い経験となるので、今後も是非継続してあげてほしい。
2. 海外発着ならではのクルーズ船の雰囲気、発着地点の観光など、魅力が多い企画だと思う。特に日本に発着しない大きな船に乗れる貴重な機会だ。しかし航空代など、学生にとって負担が大きくなる点も多いため、頻繁に行くことは厳しいかもしれない。
3. 海外からの発着ということで、いつもとは違った期待があった。また、日本人も少なく日常から離れた世界を楽しむことができたので大満足だ。日本発着よりも断然充実している。また、日本発着の場合、寄港地の多くが日本国内であったため知っている土地もあったが、今回は寄港地も海外で訪れたことのない土地だったのでワクワク感がかなり高かった。海外発着のクルーズの魅力がもっと広まってほしい。
4. 初の海外発着クルーズということで少し不安はあったが、経験して得たものの方が大きく、参加してよかったと感じている。日本人が少ない環境で、海外の方や文化に触れることができ、新鮮な気持ちになれる。海外発着クルーズの日程を設定することは難しいと思うが、今後も引き続き企画していただけると、更に世界が広がり、学べるものが増えると感じる。
5. 今回のように、クルーズ船内で各国の人たちと交流することで多様な面白い話が聞け、コネクションが生まれることが貴重な経験だった。海外の人が多く乗る船の場合、事前に説明会等を充実させていくことで日本人乗客の期待値とのギャップをできる限り埋める努力が必要かと思った。
6. やはりボトルネックになるのは、「海外寄港地に赴くまでの航空機」であろう。単純なクルーズ乗船代金に加えて、航空券代も加わるため、学生にとってはトータル料金の予測が立てづらいのは、スマートクルーズアカデミーの今後の発展のための障害の一つとなるのではないだろうか。
7. 個人的には飛行機というものが苦手でなかなか海外に行こうと思わないので、このような機会をセッティングしていただいとことで、海外に触れることができ、充実した四日間を過ごすことができた。ただゼミ旅行として最初のクルーズはお金の面もあると思うので、日本発着のもの

- の方がいいのかなと思う。ただ今回のような、希望者のみの「論文執筆お疲れ&4回生送り出しクルーズ」的な位置付けとしての海外クルーズには大賛成である（来年も行きたい）。
8. 海外発着だからこそ、海外のゲストがたくさんいて楽しかった。船内でもたくさんの方とコミュニケーションをとる機会があった。逆に日本発着のクルーズ船でも海外の方をたくさん導入できる仕組みがあればもっと活気があるクルーズ旅になるのではないかと思った。
 9. 海外の港湾発着のアカデミーは日本発着とは異なる体験ができる大変すばらしいものだ。日本発着ではどこかに日本人・日本語によるヘルプがあるが、海外ではそうとは限らないので自分の生きる力を向上させられそう。
 10. 自分で飛行機や宿をとるのはこれからの人生で必要になってくるのでこれからも海外発着のアカデミーがあってほしい。
 11. 今回の SCA 海外企画に参加して、とても良かった。満足している。上の質問でも述べてきた通り、やはり海外発着のクルーズだからこそ味わえる魅力を実際に体験できて、とても嬉しかった。そして、それがシンガポールというアジアを代表する観光都市国家を発着するクルーズだったので、観光業を盛り上げようとしている日本に住む私たちにとって非常に刺激的で得るものが多かった。周りの友人・知人にもぜひ進めたいと感じた。そのためには（今後も SCA 海外企画を盛り上げていくには）、やはり経済的な補助があれば参加しやすいと思うし、それに加えて、かなり前もってスケジュールをアナウンスしていただければ、より参加しやすくなると思った（前もった予約であればフライト代も安く済むし日程も空けやすいので）。
 12. わざわざ海外に行ってクルーズ船に乗るという発想がなかったので、すごく貴重な経験となった。今後個人的に旅行を計画する際にも海外発着のクルーズを選択肢の一つと思う。スマートクルーズアカデミーという視点で考えると、やはり海外開催ということもあり、連絡手段といった面で不安があると思う。
 13. 海外でゼミのみんなに会うという経験はなかなかできるものではなく、とても興味深かった。またこれは海外発着クルーズに限ったことではないが、終日クルーズの日などゼミのイベントが全く無く自由に過ごせる日が1日でもあれば、クルーズならではの「時間に追われる日々から逃れてゆったり過ごす」ことができるのに、と思った。今回の旅では何かと時間が決まっており、時計を持って行動せざるを得なかったため、あまり心からゆっくりできなかった。
 14. 学生のうちにこのような貴重なクルーズの経験を得ることができて、大変うれしい。クルーズの中は毎日が初めてのことだらけの非日常で、わくわくした。クルーズだけじゃなく、普段見ることのできない港やマリナーベイサンズの裏側など、本当に貴重な体験だった。
 15. 積極的に今後も実施して行ってほしいと思う。海外旅行とクルーズを贅沢に一度で味わうことができ、日本発着とは違った寄港地に寄ることができるのも魅力的だと思う。

クルーズの社会的意義と、アジア・日本でのクルーズ振興の在り方(ニーズの掘り起こしにおける若い世代からの視点)

1. クルーズでの旅は、交通費、食費、宿泊費が全部込みの旅なので、見た目高く見えてしまうものの、実際の値段ではそこまで通常の旅行と変わらない。しかし、まだまだ高級なイメージが根強く、その分そこへ悪いギャップを感じる人がいたり、逆に良いギャップを感じてリピートしたりする人も多くいる。そのため、この「高級」というままで止まっているイメージを改革し、より多くの層に正しくクルーズ船の旅の仕方を周知することが重要だ。
2. 私自身はゼミ旅行という機会をもらったことからクルーズ船に乗ったが、普通の若い人が自分自身で調べて選択するにはまだまだハードルが高いため、いかに選択肢に入れるのが重要だ。（“卒業旅行”と検索をしても、クルーズ旅行が出てくることはほぼないため。）
3. クルーズ船内の施設やアクティビティは本当に若者にぴったりで、一度この楽しさを知ったら多くの人々がまた乗りたいと感じると思う。ただ、いまだに友達にクルーズに行ってきたというと、「クルーズ=移動手段」というイメージを持っている人が多く、話がかみ合わないことが多い。クルーズ船内の魅力やアクティビティの豊富さをもっと PR するべきだと思った。

4. クルーズの意義は「日常生活を離れられるところ」にあると考える。日々働いている若い人々がリフレッシュをする機会として有効なのではないかと感じる。企業の中には、リフレッシュ休暇のように長期間の休みを取ることを推奨しているところもあるので、その一環として「クルーズ休暇」という制度を設けてみるのが、ニーズ掘り起しにつながるのではないかと考えた。
5. クルーズの乗客がクルーズ内はもちろん、それぞれの寄港地でお金を使うことによって、その地域の経済発展やそれによる市民の生活の質の向上につながると思う。よって、寄港地をより魅力的な観光地にしていく努力がクルーズ振興の一つの在り方といえる。また、クルーズごとで乗客のターゲットを決めて、共通する仕事/趣味で集まった各国の乗客が交流するイベントを多く設けることも、振興の一助になるかと思う。
6. クルーズは乗客にとっては移動費、食費、宿泊費などがすべて込みの大変リーズナブルな旅行であると感じる。ただ、クルーズを楽しむためには数日かかるという点が若い世代からするとボトルネックである。ただ、今後の働き方改革と同時並行で、長い休みをクルーズに使えるというプロモーションを展開すれば、今まで手が出せなかった若い客層にもアプローチできるのではないか。
7. クルーズというものはまだまだ富裕層の遊びという意識が根強いと思うので、まずはハードルを下げてサービスを展開するというような工夫が必要なのかなと思う。例えば、特にどこに行くわけでもないが、クルーズ船内で食事を楽しむみたいなサービスや、神戸港湾内クルーズのような超短時間クルーズなどである。ただ今回の旅でわかったように、英語が苦手な日本人にとってはその浸透はなかなか難しいものであると感じた。
8. クルーズは格式が高いイメージがつきもので、クルーズにも様々な種類やランクがあること・周遊するのであればお得であること・非日常を経験するたのしさなどのイメージが浸透していないのがとても残念です。クルーズをとおして様々な交流があることがもっと伝わればいいなと思います。
9. アジアではまだまだクルーズは発展途上なので十分伸びる余地はあ。そのためには従来のクルーズ旅行のイメージ(超高額・船内は暇)を払しょくする告知が必要だ。アジア圏の食文化については今回の船はローカライズされていたので、客からも好評だった。また、チップを乗船料金に含めることで、最終日にチップが請求されることはなく、チップに不慣れなアジア文化圏の人にも困惑を持たれないように配慮されている。このように職以外の文化にもローカライズすれば客はリピートすると思う。
10. クルーズは、リアルタイムで時間に追われがちな現代人にとって、まさに必要とされる(需要がとても大きい)旅の形だと思う。すなわち、時間をゆったり楽しみながら、かつ1度に複数の国や地域に行けることも多いので、非常に魅力的な旅行の形だと思うし、同時に船内ではたくさんの国や地域の方々の国際交流もできるので、これから社会的にもっと盛り上がるべきものだと感じている。そのために、特に日本では「クルーズ=お金持ち」という人々の認識を(良い意味で)崩し、リーズナブルに行けるプランも割とあることの周知、及び、長期休暇が取りづらい方へ向けたショートクルーズをもっと宣伝することが必要だと考える。
11. 東南アジアは物価が安く、また日本からも近く行きやすいという点で若い世代にも人気がある旅行先なので、そういうところに寄港するクルーズがあることを知れば、若い世代にとってもクルーズが身近に感じたり、参加するものになったりするのではないかと思った。
12. 若い世代にクルーズを利用してもらうには、やはりまずその周知が欠かせないと思う。実際私も友達にこの経験を話しているときに多く受ける感想が、「えっ、クルーズってそんなに安く乗れるの?」というものだった。もちろん私たちは赤井先生のおかげで安く乗れている面が大きいですが、それを差し引いても現実クルーズにかかると思われる料金と実際かかるそれとは大きな隔たりがあるように思う。その面を克服すれば、最近の写真映えを気にする若者にとってこれほど適した舞台はないように思える。
13. 今回、寄港地としてペナン島に行った。きっとクルーズに乗船しなければ行くことがなかった場所だ。実際に降り立ち、散策することでペナン島の雰囲気や文化などに触れることができた。このようにクルーズは、クルーズ客への新たな発見をさせてくれるものだ。私自身もそう

だが、旅行をするとなった時にクルーズという選択肢が浮かんでこない。値段が高く、敷居が高いイメージもあり、クルーズに乗って何をするのか、楽しみ方がわからなかったからだ。まずは、SNS などを通して生のクルーズ客の声を届けるなど、多くの人に知ってもらうことが大事なのではないだろうか。

14. クルーズの社会的意義として最も大きいと思うことは、各地の魅力を気軽に感じられることである。知らなかった場所でもクルーズの寄港地として訪れた際に、魅力を感じ、またゆっくり来てみたいと思わせることができる絶好のアピールチャンスでもある。クルーズを振興させていくためには、SNS での情報発信をより活性化させていく必要があると思う。(現実から遮断されて良い面もあるが、) 船内はインターネット環境が良くないため、寄港地含め、船内で撮影した写真をタイムリーにアップして同世代の人にアピールできないままでは振興していくためには克服するべきだと思う。船内で課金だと少しわかりにくい点もあるので、旅行プランにセットとして WIFI サービスをつけたり、船内の一部エリア内では FREEWIFI エリアなどがある有効的である。

今回参加してみて、クルーズ全般への感想(失敗談なども)、将来に向けての感想、上記の項目に該当しなかった部分への感想

1. クルーズ旅は毎回新しい発見があり、船の中でも寄港地でも楽しい旅になります。これから社会人になりますが、社会人になっても暇を見つけてクルーズ旅を続けたいです。
2. スマートクルーズアカデミーを通して、学生時代にクルーズに乗るという貴重な経験ができた。クルーズは退職後の人が気ままに乗るもの、という印象が 180 度変わりました。就職後は長期休暇をとることが難しくなると思いますが、ショートクルーズなど乗船したいと思っています。
3. 今回のクルーズは今までのどのクルーズよりも充実していた。海外発着ということもあるが、今までしたことのない経験をたくさんすることができたので楽しかった。また短期間のクルーズということもあり、社会人になって長期の休暇が取れない場合でも来れるクルーズだと思ったので、ぜひまた乗りたいと思う。
4. 今回でクルーズ船に乗るのは 3 回目であったが、今までで一番楽しいクルーズとなった。その要因は様々であると考えているが、日本人が少ない環境で、異文化に触れ、濃い時間を過ごせたことが一番大きいと感じている。一方で、もっと他国の方と交流する機会を持つことができたとも思うので、今後はより英語を勉強し、更に積極的にになり、チャンスを広げていきたいと思った。
5. 大学生の卒業旅行生もいたことから、予想していたよりも若い世代にも楽しまれていることがわかった。全体的にアクティビティやショーが大変充実しており、また、インド人と伝統的なダンスと一緒に踊ることもできて、主体的に参加することで予想以上に楽しめたクルーズだった。
6. アクティビティーが盛りだくさん過ぎて、何日目かの午前中はダウンしてしまった。クルーズは船内での楽しみ方が多くあるが、その分自分の体とも相談した適切な楽しみ方をしなければならなかったと感じている。将来働きに出ても、クルーズに乗れるだけのお金を稼ぐことは、将来に向けての目標である。
7. とにかくカジノで一桁多く請求されてしまったことが非常に悔しい。これは明らかに私のミスであるので、クルーに対しては何も文句はないのであるが、やはりクルーズという非日常的空間に浮かれてしまうので、そのような不注意が生じるのだなと思った。だから船内サービスを利用する時は領収書の金額をきちんと確認すること、船内通貨を確認すること(船内ではシンガポールドルが使われていると勘違いしていた)が大切だなと身をもって知った。
8. 今回クルーズに参加してみて、とても短く感じました。けれど、1 日 1 日の密度がとても濃く、日々新しい発見や交流をしてとても幸せな時間を過ごしました。またクルーズの魅力を知ることができとても嬉しかったです。

9. 揺れは感じなかったが船は波の影響を受けており、その上でフローライダーで自身が大きく揺れたことで実は船酔いに近い症状を起こしていたことが後日分かった。それに気づかず、毎晩遅くまで起きていろいろなところを見て回ったり踊ったりしていたので帰国してから体調を崩した。そのため今後は無理することなく、しんどくなる前に休憩をとるようにしたいと思った。普段の日常を忘れて、リフレッシュできるいい機会なので次回以降もぜひとも参加したい。
10. これからも継続的に SCA 海外編を実施してほしい。やはり、クルーズの良さやその振興を考える上で、規模や盛り上がりが日本とは異なる海外発着のクルーズを経験することは非常に有益だと感じた。特に、シンガポールは、LCC や治安など様々な点で日本からも気軽に行きやすい中で、学ぶべきことが多い国だと強く感じたので、今回のツアーを他の人にも勧めたいと思った。
11. クルーズの4日間を振り返ると、集団で参加しているので、もう少し時間や他の人の動きに気を配ることができていればよかったと反省するところもあるので、最初の評価を「4」にした。来年からは後輩もできるので、クルーズなどだけでなく、普段のゼミ活動から全体に気を配って参加していきたい。クルーズそのものはすごく楽しかったので、都合のつく限り来年、再来年と参加したいと思う。
12. 上記にもある通り、終日クルーズの日などゼミのイベントが全く無く自由に過ごせる日が1日でもあれば、クルーズならではの「時間に追われる日々から逃れてゆったり過ごす」ことができるのに、と思った。今回の旅では何かと時間が決まっており、時計を持って行動せざるを得なかったため、あまり心からゆっくりできなかった。(引用)
13. クルーズに対するイメージがガラリと変わった。今までは、お金持ちのおじいさん、おばあさんのための優雅なクルーズ船だと思っていた。しかし、実際に乗船してみたことで、子供からお年寄りまで幅広い層が楽しむことのできるものだという認識が変わった。今回の乗船で、旅行の選択肢としてクルーズが加わった。先生方がおっしゃっていたプリンセス号やにっぽん丸にいつか乗りたい。
14. 自分のアクティビティに積極的にチャレンジするという目標も達成でき、大変充実した三日間を過ごすことができた。どちらが船首でどちらが船尾かが分かるようになって、慣れてきたころに下船だったのであつという間だった。次回、クルーズに自分で乗る機会があるときには、長期で地中海などを回ってみたいと今から楽しみにしている。それに向けて現実社会でも頑張っていきたい。